

蕨 広報WARABI 11

2019/令和元年
わらび・827

- 令和元年11月1日発行／発行所・蕨市役所
- 10月1日現在人口：75,669人 前月比 -12人
世帯数：39,547 人口密度：14,808人/km²
- 蕨市の面積 5.11km²



～今月の特集～

- 来春に認可保育園を増設… 2
- 人生を彩る
生涯学習のススメ…… 4

市制施行60周年記念
キャッチフレーズ

笑顔 希望 ずっとぎゅっと蕨

～今月の表紙～ 車いすバスケットを体験

中央東小学校でアスチャレ！スクールが開催。車いすバスケット体験や講話を通じて、パラスポーツへの関心を高めました。



笑顔広がるまちづくりを進めます(蕨ゆたか保育園の給食の様子)



「子育てしたい！」と思えるまち・蕨へ

来春に認可保育園を増設

市では「子育てしたい！」と思えるまち・蕨に向けて、子育て環境の充実を進めています。その一つが認可保育園の増設を含めた定員拡大です。ここではその取り組みについて紹介します。

積極的な保育園の増設もそれを上回る入園希望者

都心に近く利便性の高い蕨市では、近年、人口とともに子どもの数が増加傾向にあり、共働き世帯の増加やニーズの多様化もあって、保育園への入園希望者が増えています。このような状況を受けて、市では民間との協働により、認可保育園の増設に取り組み、平成23年以降、8つの園が開園（詳細は右下グラフ）しましたが、それを上回る入園希

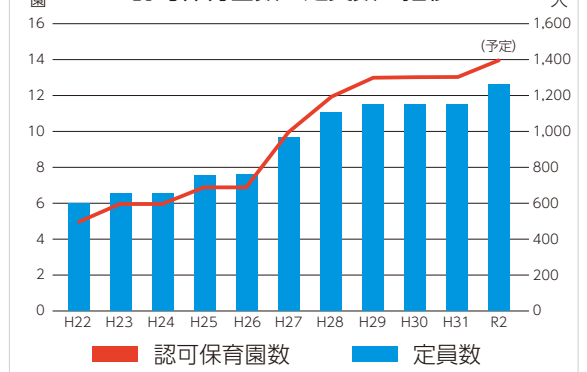
望があるため、待機児童の解消には至っていません。

待機児童の解消を目指し1園増設含めて定員拡大

そうしたなか、認可保育園の更なる増設に向けて、設置にご協力いただける土地の所有者に奨励金を交付する独自の誘致策を実施。その結果、来年4月、錦町3丁目に新たな認可保育園が整備されることとなりました。

新たな保育園は、定員69人の（仮称）蕨錦町ゆたか保育

認可保育園数と定員数の推移



～来年4月に定員69人の認可保育園を増設(錦町3丁目)～



▲建設予定地では来年4月の開園に向けて、工事が進められています

(仮称) 蕨錦町ゆたか保育園

ところ＝錦町3-1146-1(所在地)
 定員＝69人(0歳児＝6人 1歳児＝8人 2歳児＝10人 3歳児＝15人 4歳児以上＝30人)
 運営＝社会福祉法人 良心会
 詳細＝同保育園準備室(☎420・9195)

歓迎です！保育園の増設

第2子を今年出産し、育児休暇中ですが、今後職場への復帰を検討しています。都市部では保育園への入園希望者が多く、待機児童が多いと聞きます。そうしたなか、錦町に新たな認可保育園ができることは働く母親の一人として歓迎ですね。



高橋 宏美さん・芽衣ちゃん
 錦町在住

声



牛島 祥子さん・圭渉ちゃん
 錦町在住

市民ニーズの実現に期待

育児休暇中で児童館や公民館をよく利用しています。蕨に住んで7年。生活するのに便利で近所の人もあたたかい、このまちが気に入っています。今回の認可保育園の増設のように、市民のニーズに合った取り組みをこれからもお願いします。

来年4月塚越地区に増設
 民間留守家庭児童指導室

新たに塚越地区に施設を増設。これにより、市内では公設・民設合わせて18室となり、保育園と同様に施設の充実を図っています。

(仮称)ウィルキッズフィールド
 蕨塚越クラブ

ところ＝塚越5-4-17 2階
 定員＝30人
 対象＝東小・塚越小の1年～6年生
 運営＝(株)グローイングアップ
 ※9日と24日に市民会館で説明会を開催。詳しくはウィルキッズフィールド戸田下前クラブ(☎048・242・5243)



園(詳細は左上欄)。運営するのは社会福祉法人良心会です。更に既設の中央3丁目にある蕨ゆたか保育園については、空き店舗となつている1階部分を整備し、定員を28人拡大します。そのほか、えなぎ保育園と、こまどり保育園の2つの家庭保育室が小規模保育園となる予定です。こうした開園及び定員拡大により、来年4月には認可保育園の定員数は97人増の1265人、小規模保育園を含めると135人増の1508人となります。

また、保育園と同様に希望者が増えている留守家庭児童指導室についても、今夏に公募を行い、来年4月、塚越地区に1室増設(詳細は左欄)することとなりました。

子育て環境の充実に向け
 取り組みを計画的に推進

市では今後も子どもを安心して産み育てられ、子どもたちが健やかに育つ環境づくりを進めるため、子育て支援に関する取り組みを計画的に推進していきます。なお、保育園と留守家庭児童指導室の来年度の申し込みはお知らせ版1ページをご参照ください。

問い合わせ 児童福祉課(☎433・7758)

いつでもどこでも自由に

学びと触れ合いを広げる生涯学習

生涯にわたり自らの興味関心に沿って学ぶとともに、地域とつながることができ
る生涯学習。4ページから7ページまでの特集では、学びを実践し、充実した毎日を送って
いる市民の皆さんの紹介を通じて生涯学習の魅力に迫ります。



北町地区生涯学習フェスティバルに向けて練習に励む「フラメカブアナーレフア」の皆さん

スポーツ・文化・芸術の秋 いざ学び合いの輪の中へ

日本一小さな市域面積に7つの公民館があり、活発に生涯学習が取り組まれている。全ての公民館が文部科学大臣から優良公民館として表彰されるなど、充実した生涯学習はまちの魅力であり、市政発展の原動力となっています。

生涯学習とは、学校教育や社会教育に限らず、スポーツ、文化活動、趣味などさまざまな機会において行う学習のこと。自分らしく豊かな日々を過ごせるとともに、学び合い

を通じて社会とのつながりが広がられます。

市では、平成27年に「学びのきっかけづくり」と「学びを活かす仕組みづくり」に重点を置いた第3次藤市生涯学習推進計画を策定。今後も、皆さんの学習活動を支え、その成果が生かされるまちづくりを進めていきます。

5ページ以降ではそれぞれの分野で生涯学習に励む皆さんを紹介いたします。いつまでも輝いていたい、毎日をいきいき暮らしたい。そんな気持ちを満たしてくれる生涯学習をこの機会に始めてみませんか。



北町地区生涯学習フェスティバルでの作品展示の様子

お世話になった子育て広場
今ではスタッフとして参加



みどりかわ ちか
緑川 千佳さん
塚越5丁目・38歳

「離乳食は塩分量が心配
ですよ。私は製氷皿で凍
らせた^{だし}出汁を風味付けに使
っていました」。東公民館の
子育てサロン「Mama
ひろば」で、スタッフとし
て活動している緑川千佳さ
んの声が聞こえてきました。

「ただではなく、子育てママ
たちの体験談を聞き、分か
ち合うことで気持ちが楽に。
家族ぐるみのつきあいも生
まれました。「この場がずつ
と続くよう力になりたいで
す」と緑川さん。地域に子
育ての輪が広がっています。



▲子育て体験を新米ママに話す緑川さん

中央公民館でパソコンの
操作指導をするなど、市内
のIT環境の向上に向けて
活動している藤パソコン支
援隊。ここで中心メンバー
の一人として活躍している
のが小川廣太さんです。

退職後に家に引きこもら
ないよう心がけていた小川
さんは市民活動見本市(※)

に参加すると、自分にもで
きそうだとパソコン支援隊
に入会。操作指導をした相
手に「ありがとう」と言われ
ると、不思議と仕事とは違
った充実感に包まれ、次は
もっと分かりやすくサポー
トしようと、教え方を勉強



▲優しく分かりやすいサポートが評判です

する意欲が湧いてきました。
知らなかった自分を発見し
て毎日をはたらつと過ごす
小川さん。「まずは未知の世
界でも果敢にトライしてみ
ることですね」と、生きがい
を感じて暮らすためのアド
バイスをいただきました。

退職後の引きこもりを心配
何事にも一度挑戦する癖を



おがわ ひろた
小川 廣太さん
南町2丁目・73歳

生涯学習の機会を提供する各公民館・わらび学びあいカレッジ

市内に7つの公民館

年間に延べ25万844
9人(平成30年度)が利用
する公民館は、生涯学習
の中心的な施設です。各
公民館では、それぞれの
地区の地域課題や生活上
の問題を解決するに当た
り、シニア世代の健康づ
くりの場、生きがいづく
りの場、子育て世代の情
報交換や仲間づくりの場
を作るために、さまざま
な学級・講座を開催して
いるほか、学習の情報提
供や相談も行っています。
問い合わせ〓各公民館
(連絡先や講座の詳細に
ついてはお知らせ版8頁
を御覧ください)

わらび学びあいカレッジ

市民会館内に事務所を
構える同団体では、市と
の協働により、市民のポ
ランティアの皆さん約70
人が公民館などで行う生
涯学習講座の企画・運営
を行っています。

問い合わせ〓同団体 (☎
444・2122)

※さまざまな世代が地域に興味を持ち、市民活動などへ参加するきっかけ作りの場。今年度は来年2月29日に市民会館等で開催



🌙
夜間中学
〜持ち物は学ぶ気持ち〜



夜間中学に通う吉田龍雄さん(左)と堀川しず子さん(右)

特集 人生を彩る 生涯学習のススメ

学びで新しい世界を

ここでは、今年4月に埼玉県内で初めて開校された夜間中学に通う市内在住の二人の様子を紹介します。



芝西中学校陽春分校(夜間中学)

平成31年4月に開校した県内初の公立夜間中学。10代から80代まで14か国の生徒約80人が入学し、勉学にいそしんでいます。蕨市からは4人が通学。
住所=川口市並木1-26-1



①数学に頭を悩ませながらも何十年も前に置いてきた忘れ物を取り戻しています ②初めて見る理科の実験に真剣な表情のお二人 ③夕食時間は楽しい国際交流の始まりです ④僅か半年間でも学んだことを書き出すとあふれてきます ⑤体育の休憩中のひとこま。生活に笑顔が増えました



▲自宅で新聞を読む吉田さん。言葉の意味を調べるため辞書が手放せません

さまざまなきっかけにより、学校で勉強できなかった人々が学ぶ夜間中学。ここは学び直しを願う高齢者の夢を叶える場所でもあります。

「昔は勉強が嫌いで、成績もひどかった」と語る吉田龍雄さん(79歳・南町1丁目)。ドライバーとして約40年勤め上げた後、気づくと新聞を見ても言葉や内容が分からず、無口で人づきあいも得意でなかったため、社会から取り残されていると感じました。そこで自分を変えるきっかけにと夜間中学へ。先生が丁寧に教えてくれ、同級生とも触れ合える学校が今では生活の中心となり、将来は自伝を執筆したいという目標も生まれました。

学習の開始に遅すぎることはありません。学びたいと思ったときに学びどき。お二人の姿からそんなたいせつなことを教えていただきました。

堀川しず子さん(86歳・塚越5丁目)はこの学校の最高齢。戦後の混乱期で中学へ行かず、生きるために働きに出ました。そんな堀川さんの夢は英語を学び、外国へ行くこと。「アルファベットを覚えるのも一苦労」と苦笑いしながらも、初めて触るパソコンではしっかりローマ字入力をし、海外のお祭りを調べていました。年代や文化も違う仲間に刺激され、「クラスでいちばんに」という気持ちも芽生えた堀川さん。その向上心は衰え知らずです。



▲パソコンを教わる堀川さん。なんて便利な物なのと目を丸くしていました

高学年の部

11月9日～15日
秋の火災予防
運動週間

全国統一防火標語「ひとつずつ いいね！で確認 火の用心」

小学生が描いた 防火ポスター展

蕨市消防本部と蕨防火協会が毎年開催している防火ポスター展。今年市内の全7小学校から296作品が寄せられました。ここでは入賞作品と火災予防に関するお知らせを紹介します。なお、入賞作品は火災予防運動週間にあわせて、イトーヨーカドー錦町店に展示されます。



金賞
たきむら しな
滝村 紗菜さん
南小学校6年

黒と白の対比で避難経路を目立たせ、火災発生時の緊迫した雰囲気が伝わるように仕上げました。初めて訪れた場所はもちろん、よく利用する慣れた場所でも定期的に避難経路をおさらいしましょう。



銀賞
くりまた あやさ
栗又 彩紗さん
南小学校6年



銅賞
あべ いくお
阿部 樹さん
西小学校6年

11月～3月は火災に注意

空気が乾燥する11月から3月までの時期は、火事が多いへん起こりやすくなります。

「たばこの火をしっかりと消す」、「暖房器具付近に燃えやすい物を置かない」など、一人ひとりがじゅうぶんな注意をしましょう。また、ごみ出しを前日に行わないなど防火されない環境づくりにも努めましょう。

●防火ポスター・消防車両展示／8日(金) 午後4時～

イトーヨーカドー錦町店

※防火ポスターは15日まで展示します。



8日はワラビーが待っています！

情報ダイヤル

掲載は無料。申し込みは秘書広報課(☎433・7703)へ



●仲間になりませんか

▼和楽備ストレッチ・脳トレ&ラジオ体操の会 月・水・金曜日 午前6時15分 城址公園
新たに認知症予防教室を開始。詳細はご確認を(費用あり)△平田 ☎080・4179・6907

▼柔道体験教室 火・木・土曜日 午後7時 市民体育館 小学生以上 月3000円(別途入会金1000円)△蕨市柔道連盟会長・宮内 ☎090・3089・9909

▼男性料理クラブ 第2土曜日 午前9時 西公民館 月1500円 男性限定 先着4人 無料体験・見学自由△福増 ☎445・3026

▼楊名時(太極拳) 土曜日 午後2時半 蕨駅東口駅前ラ・セーヌビル 月4500円△浦島 ☎224・5915

▼蕨北町サッカー 土・日曜日・祝日 北小学校 年中～小学生 月1500～2000円(未就学児は年間1000円)活動時間要確認△小泉 ☎090・4948・5936

開催中 蕨市新指定文化財を展示
歴史民俗資料館 秋の特別展

「蕨の歴史をゆつくりと堪能ください」と掘学芸員



歴史民俗資料館で開催中の特別展では、昨年度、新たに指定された4件の蕨市指定文化財を展示しています。蕨宿本陣を務めた岡田家に伝わる「蕨宿岡田本陣家資料群」や明治初期の塚越稲荷社と機神社の様子を知ることができる「機神社参拝絵馬」など、蕨の歴史を映し出す貴重な文化財が御覧いただけます。

注目！ いちのみや みゆきのす 一宮御幸図 「蕨宿岡田本陣家資料群」から

明治元年(1868)に明治天皇が大宮水川神社へ行幸する際、小休のため蕨宿本陣に到着したときの様子を蕨在住の画家・藤村琢堂が、同38年(1905)に描いたもの



Autumn Gallery 2019「新指定文化財展」

会期 = 12月15日(日)まで

※休館日は月曜日、11月5日

時間 = 午前9時～午後4時半

詳細 = 同資料館(☎432・2477)



【新指定文化財】

- 「蕨宿岡田本陣家資料群」
- 「政房入道善休日記・家統善休昔物語」
- 「定正寺木造聖観音菩薩立像」
- 「機神社参拝絵馬」

低学年の部



柴 万由梨さん
東小学校3年

台所の火を消し忘れたまま出かける人たちを描きました。大きな炎が後ろから覆いかぶさっているように描くことで、火の怖さを表現しました。油断しないで、こまめに火の元を確認しましょう。



石黒 和志さん
東小学校2年

銅賞 たかなし るい 高梨 琉生さん
西小学校3年



みんなの命を守る住警器

火災の発生をいち早く知らせる住宅用火災警報器(住警器)を設置しましょう。設置義務となったっている箇所は寝室と階段です。



●住警器の家屋調査/住警器の設置状況を確認するため、身分証を持参した消防職員が今月中に皆さんのご自宅を訪問します。ご理解ご協力をお願いいたします。

問い合わせ 消防本部予防課 (☎441・0174)

- 参加しませんか
- ▼ 江戸あるき「日光街道・天下分け目の評定地小山宿めぐり」
2日・7日 午前9時に蕨駅改札前に集合 700円(富山・☎090・2764・1342)
- ▼ 川口ウインドアンサンブル
子ども向けコンサート 12月8日 午後1時半 市民会館 500円 申し込み方法はホームページ (<http://kweipn.org/>)
- ▼ 日帰り倶楽部参加者説明会
日時等の詳細は電話確認(岩本・☎090・3431・4295)
- ▼ 子どもミュージカルラビコ25周年記念発表会「アラジンと魔法のランプ」 1月12日 午後1時と午後3時半 東公民館 無料(永沼・☎452・8143)

●ご相談ください

- ▼ 蕨断酒会(酒害相談) 5日 中央公民館 8日 南公民館 21日 旭町公民館 午後7時 語り合いの場(高橋・☎090・2302・8510)

●無料で差し上げます

- ▼ 世界大百科事典(全37巻)・世界の美術の本(全10巻) 取りに来てくれる人(富樫・☎432・2619)

市制施行60周年祝う催し

9月21日、市民会館で「ラジオ深夜便のつどい」が開催。射撃でパラリンピック3大会連続出場の田口亜希さんによる講演会や、アンカーの迎康子さんと住田功一さんによる公開収録が行われ、約400人の参加者は20年の東京大会に向けたお話や蔵に関するトークを聴き、楽しい時間を過ごしました。



まちの話題

ここでは9月下旬から10月上旬までの話題を紹介します
ビデオマークがついている話題はCATVで放映します



アートむすび市in蔵開催

地域活性化や個人出店のきっかけづくりを目的に、9月28日、北町コミュニティセンターなどを会場に「アートむすび市in蔵」が開催。41ものブースが出店し、訪れた人々はおしゃれな雑貨などの買い物やグルメ、ワークショップ、団体発表などを楽しみ、すてきな休日を満喫していました。

イベントで健康意識UP

10月6日、市民体育館で「わらび健康まつり・歯ッピーわらび」が開催されました。会場では各種測定や歯科健診、相談会、体験コーナーなどを実施。訪れた887人にとって、イベントを通じて、健康への意識を高めるとともに、日頃の生活習慣を見直すよい機会となりました。



「ハローわらび」11月の番組表

市からのお知らせ・地域の話などを送ります

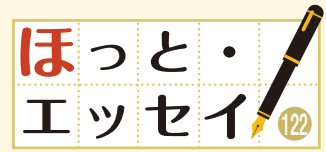
放送時間は、毎日午前9時・正午・午後3時・6時・9時からそれぞれ45分間です。

	11/1(金)~7(木)	8(金)~14(木)	15(金)~21(木)	22(金)~28(木)	29(金)~12/5(木)
00	タウンタウンワイド 高齢者学級「みなみ学園」 児童センターの ミニうどん会	タウンタウン 第44回園芸祭 「あすチャレ!スクール」 in 中央東小	タウンタウン 旭町地区生涯学習 フェスティバル 生活支援サポーター養成講座	タウンタウンワイド 中央小の高齢者 疑似体験教室 北町地区生涯学習 フェスティバル	タウンタウン たんぼぼ保育園の観劇会 アルコール関連問題講演会
10	東小の稲刈り 女子プロレス&格闘技ジム 10周年合同興行 「ありがとう・蔵」	市長の“ほっと”訪問 行き届いた 介護環境で安らぎを 「レーベンホームわらび」	特集・ウィークリープラス トリック・オア・トリート ~まちを彩る ハロウィンの催し~	蔵市環境フォーラム 特集・ウィークリープラス	蔵市政なう! 協働で進める 住みよい蔵のまちづくり
20	特集・歴史民俗資料館 オータムギャラリー2019 新指定文化財展	美術探訪 河鍋曉斎記念美術館 「曉斎一門が描く もののけの世界」展	特集・ウィークリープラス 第36回中仙道武州蔵宿 宿場まつり	蔵市市制施行60周年 記念式典	採れたてスポット 地域の話題が 盛りだくさん
30	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報

「ハローわらび」DVD / 放送終了後から貸し出します 無料 詳細・貸し出し場所=秘書広報課 (☎433・7703)



台風19号は日本各地に甚大な被害をもたらしました。改めてまして、亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様から心からのお見舞いを申し上げます。当日は、災害対策本部を設置し、対応にあたりましたが、荒川が氾濫危険水位を超える恐れが高かったことから、市内19か所に避難所を開設し、初の避難勧告を発令しました。



台風19号への対応と被災地支援の取り組みについて

市長 頼高 英雄

市民と市長の面会日

面会日は毎月第1木曜日。ただし、今月は14日です。12月は5日です。時間は午後1時～5時を予定しています。ご希望のかたは秘書広報課（☎433・7701）へご連絡を。

1700名を超える方が避難されましたが、町会の皆さんのご協力もいただき、幸い、蕨市内では大きな被害はありませんでした。蕨市では、被災自治体に市職員を派遣するとともに、蕨駅西口において街頭募金を実施し、30万円を超える義援金が寄せられました。また、市内公共施設に義援金募金箱を設置しています。引き続き、被災地支援に取り組むとともに、災害に強いまちづくりを進めていきたいと思えます。



東小児童が稲刈りに挑戦

農業のたいへんさや楽しさを学んでもらうため、東小学校では毎年、5年生が農業体験を行っています。10月10日には、児童60人が稲刈りに挑戦。鎌の使い方を教えてもらいながら、5月から生長を見守ってきた稲を丁寧に刈り取りました。収穫したお米は今後、みんなで味わう予定です。

まさふみ
優文ちゃん（3歳10か月）
わらびき あきひと
瓦吹 昭人さん
な お こ
奈緒子さんの 二男
中央7丁目



わが家のアイドル

「好奇心旺盛な性格で、最近では小学6年生の兄の影響で図鑑などの本に興味津々な優文。おもちゃをお友達に貸してあげたり、自分で考え同じ失敗をしないよう気をつけたりするなど、以前は難しかったことでもできるようになってきました。この調子で、読書などに親しみながら個性を伸ばして、誰かの役に立てる子に育ってほしいですね」と、母親の奈緒子さん。



屋内で楽しむミニ運動会

10月10日、福祉・児童センターでちびっこクラブとのびっこクラブの親子を対象にミニ運動会が開催。オリンピックにちなんだ聖火入場に始まり、かけっこやちびっこ宅急便、玉入れなど盛りだくさんで、子どもたちは夢中になって体を動かしていました。



ジェスチャーを交えつつ聴衆に訴えかける山田さん

輝いています

ひと

やま だ ゆう と
山田 悠翔 さん

埼玉県中学校英語弁論大会2位

大好きな英語でいざ全国

中 学生たちが自らの意見を英語で発表し競い合う中学校英語弁論大会。その県大会が先月行われ、蕨市代表として出場した東中学校2年の山田悠翔さん（14歳・塚越2丁目）は2位となり、今月27日から開催される全国大会への切符を手に入れました。「もの心ついた頃には英語に夢中でした」と、山田さん。テレビの子ども向け英語番組に登場する人たちの英語圏特有の陽気さが気に入って、いつしかそこから聞こえる言葉をまねるようになります。幼稚園では英会話の時間がいちばんの楽しみで、小学校時代は洋画や英語のラジオに熱中。スターウォーズのDVDを何

度も観てせりふを覚えるも、あまりの熱心ぶりに両親が本気で心配し、DVDを没収されてしまう一幕もありました。そんな山田さんは中学校に入学した昨年、市内4中学校の生徒たちが英語のスピーチ力を競うコンテストの開催を知り、弁論の部で出場。持ちまえの英語スキルとアグレッシブな姿勢でみごと優勝します。しかしその後の県大会では、予選敗退。「自分自身の意見が足りない」という講評に、悔しさをにじませました。身近な体験を基にリベンジに臨んだ今年。一家全員がスマートフォンを多用するなか、母の友人の死を契機に家族や友人とじかに接する時間の尊さを悟った山田さんは、科学技術が浸透する社会での真に豊かな生き方について自らの考えを力強く訴え、市のコンテストで2連覇、県大会では昨年の雪辱を果たしました。全国大会へ向け、現在メンタル強化に励んでいる山田さん。本番前には全校生徒の前で練習を行う予定です。「支えてくれた人たちのためにも、悔いの無い最高の『伝わる』スピーチをしたい」。大舞台を前に、胸は高鳴ります。

今月の河鍋暁斎記念美術館

天才絵師の作品 蔵にあり

— No.42 —



『暁斎百鬼画談』より「鍋蓋、釜、鍋、五徳の妖怪」
明治22年8月 版本

『暁斎百鬼画談』は、暁斎が亡くなった明治22年（1889）の夏に発行された多色摺りの絵本です。庶民が集まって怪談話をする「百物語」の場面に始まり、骸骨の軍団やさまざまな妖怪たちの行列が続く絵巻物風に描かれています。妖怪たちは、室町時代に描かれた「百鬼夜行絵巻」（大徳寺真珠庵所蔵、重要文



化財）などさまざまな妖怪絵巻からアイデアを得て描かれています。暁斎はポーズを少し変えたり何かを持たせたりと工夫を凝らして自分の作品に仕上げています。



かわなべ きょうさい
河鍋 暁斎
天保2年(1831)
～明治22年(1889)

河鍋暁斎記念美術館 開催中
「暁斎一門が描くものけの世界」展
同時開催「小熊忠一氏寄贈作品」展

開館 = 午前10時～午後4時
休館 = 木曜日・毎月26日～末日
ところ = 南町4-36-4
入館料 = 一般600円 高校生・大学生500円
65歳以上500円 小・中学生300円
※65歳以上の人は年齢の分かる物、
学生は学生証をご提示ください。
(20人以上の団体は要予約)
詳細 = 同館(☎441・9780)



展示会の詳しい
内容は美術館の
ホームページを
ご参照ください

